

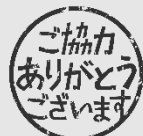
よつ葉だより

2023年
5月1日号
No.742

◆新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金◆



栃木県 860
茨城県 862



ネオニコチノイド系農薬の不使用をすすめています

ネオニコチノイド系農薬不使用マークを、4月1週「くらら」から表示しています。

よつ葉生協の農産物は、くららの 、、 にネオニコチノイド系農薬不使用マークが加わったことで、安全の様子が今まで以上に分かるようになりました。多くの種類の農薬がある中で、何故ネオニコチノイド系農薬に焦点を当てるのかは、ネオニコチノイド系農薬の特殊性、有効性に理由があります。

ネオニコチノイド（ネオニコ）は殺虫剤ですが、これまでも殺虫剤は新しい農薬が作り続けられてきました。殺虫剤を使用するときに一番影響を受けるのは、使う側の農家です。

有機リン系農薬の限界とネオニコへの転換

例えば有機リン系殺虫剤のパラチオンは、1954年には中毒者が1887人にもなり（うち死亡70人）、自殺者が237人にもなりました。使う農家の健康より殺虫効果を優先したためです。1967年にパラチオンは製造中止になりましたが、健康被害が出てもおお10数年使い続けたこととなります。使用方法が適正でなかったための急性中毒と片付けられていますが、有機リン系はその後健康被害が続き、消費者からも、農民の健康を守るために有機リン系の製造禁止を求める声が高まりました。その裏で、健康被害を少なくするために使用回数が減り、害虫を殺す目的でつくられたのがネオニコチノイド系農薬でした。2005年頃から、稲のカメムシ対策に使われ、果物、野菜にも使われるようになりました。

ネオニコの神経毒性

有機リン系とネオニコの類似点は、神経毒性があることです。相違点は、ネオニコは水溶性で浸透性が強く、使用回数を減らす

ために残効性が高いことです。一番問題なのは、「神経毒性が強い」ということです。農家の体験談によると、今までは、トンボやクモが居なくなってもいつの間にか復活しているが、ネオニコを使うようになって減りっぱなしだということです。表面にかぶさって浸透性が少ない農薬は、洗えば少しは落ちていたのが、水溶性で浸透性が強いので、洗っても落ちないネオニコのような農薬は、生きものにとっても、人間にとっても害がある、ということになります。

ネオニコ不使用を広げよう

ネオニコチノイド系農薬が使用されて20年近くになり、ヨーロッパでは禁止されつつありますが、日本ではようやく、2050年に有機農業の面積を25%増やして100万haにする「みどりの食料システム戦略」のなかに、2040年までにネオニコチノイド系農薬を含む、従来の殺虫剤を使用しなくても済むような新規農薬を開発し、2050年までに化学農薬使用量を50%減らす、と打ち出しています。有機農業を現在の0.5%から25%にするといういいながらも、新しい予防的な農薬を開発するとしています。国が、ネオニコチノイドという具体的な農薬名を出したことは、生物多様性への害を認めたことにもなります。

よつ葉生協が「くらら」でネオニコチノイド系農薬不使用マークを付けたのは、他の農薬に比べて農薬として「毒性」が強いからです。農家にも、生き物に消費者にも安全な農薬は、そもそもないということになります。

国の行動よりいち早く進めたよつ葉の生産者は、命を考えた真の農家です。そして組合員が、農家の実行力を支えています。

(会長 富居)

◆よつ葉生協の農産物の基準（「くらら」商品取扱い選定基準より）

表示マーク	内容
	JAS法で認められた有機認証農産物
☆☆☆	栽培期間中化学合成農薬不使用農産物 (化学肥料は当地比5割以上減)
☆☆	化学合成農薬は種子消毒剤のみ使用して栽培した農産物 (化学肥料は当地比5割以上減)
☆	栽培期間中化学合成農薬・化学肥料使用を当地比5割以上減らして栽培した農産物、またはそれに相当するもの



◆動画◆「みんなで選ぼうネオニコフリー！その2」（生協ネットワーク21がアクト・ビヨンド・トラストの助成を受けて制作しました）

今週4月1週より、ネオニコチノイド系農薬を使用していない農産物には下記のようにマーク表示をします。



マーク表示対象のネオニコチノイド系農薬の成分は、アセタミプリド、イミダクロプリド、クロチアジン、ジノテフラン、チアクロプリド、チアメトキサム、ニテンピラムの7成分を有効成分とした農薬です。

増えてきたネオニコチノイド系農薬を使用しない農産物

ネオニコチノイド系農薬は、「浸透性」「残効性」「神経毒性」が高い殺虫剤です。そのため、よつ葉生協では、2011年より削減を進め、2021年度には使用していない農産物が下記の割合まで増えてきました。



(2021年4月～2022年3月の延べご案内回数の割合)

4月1週「くらら」の裏表紙に掲載しました。

よつ葉の脱プラ・リサイクル 一歩ずつ進んでいます



5月1週から、「やさと産直たまご」(6個入り)と「やさとの平飼有精卵」のパックが、紙パックになりました！ マイクロプラスチックによる環境汚染や、石油資源の使用の削減になるばかりでなく、卵が割れにくく、紙が湿気を吸うので鮮度が落ちにくいという利点もあります。この紙パックもリサイクルできれば良いのですが、現在は業者を検討中で、実現はまだ先です。お住まいの自治体の資源回収に紙容器として出してください。

紙パックに！！



鎌田醤油さんのビンの回収はご存じですか？

鎌田醤油さんの「しょうゆ」、「だしつゆ」、「ポン酢」、「めんつゆ」のビンを軽くすすいで返すと、1瓶につき20円が返却されます。これらのビンにはR(リユース瓶)のマークがついています。原材料に再利用するリサイクルではなく、きれいに洗って繰り返し使うリユースのマークです。リユースできるものはリユースを進めることが省エネには欠かせません。

このたび5月15日より、食彩酢(360ml、藤井養蜂場)の瓶も返却できることとなりました。返却された瓶は鎌田醤油さんでリユースします。食彩酢の瓶も20円返却されます。他社の瓶に対しても返却扱いにいただいた鎌田醤油さんにも感謝します。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

(理事 堀)



回収に仲間入り！！



どんぐりくらぶ産地見学

1月の末、原木しいたけ栽培をしている「どんぐりくらぶ」の高橋農園に伺いました。しいたけはどんな風に生えているのだろうかワクワクしながら見学させていただきました。

原木しいたけとは、ナラやクヌギなどの原木にしいたけ菌を植え付けて栽培する日本古来の伝統的な栽培方法です。木を細かく砕いたおが粉などを使う菌床栽培に比べ、重労働で手間がかかるため生産者の数は減少し、生しいたけにおける原木栽培の国内シェアは7.7%くらい(2019年林野庁統計資料より)だそうです。時間をかけた自然に近い状態での栽培は大変だけれど、美味しい原木しいたけを育みます。そして、栽培期間中にポストハーベストも含め、農薬と化学肥料を全く使用せず育てていると高橋さんから聞きました。ハウス内の原木を見ると、しいたけ菌ではない様々な色の菌類が付着しているものもあります。適温を保ちつつ他の菌に目を配り、初夏には一本一本原木の天地替えを行い、数少ない安心な原木しいたけを食卓に届けてくださっているんですね。

「どんぐりくらぶ」のしいたけが家に届くと、一緒に入っている10cm四方紙のメッセージにお気づきでしょうか。どんぐりくらぶでは原木しいたけを育てるだけでなく、40年ほど前から

1. 化石燃料を使わないバイオマス暖房

- ・高橋農園では、しいたけ栽培用ビニールハウスの暖房には、化石燃料使いません。
- ・40年ほど前から、使用済みのホダ木を燃料としたバイオマス暖房を行っています。(CO2排出量の削減)



化学燃料を使わない脱炭素に関する取り組みを始めています。原木しいたけ栽培の役目を終えたホダ木を暖房の燃料にしたり、専用の焼却炉からできる炭にしたりしています。このバイオ炭は、炭にして地中に撒くことで炭内に含まれる炭素を土壌中に閉じ込められます。そして、炭を畑や家庭菜園に撒けば土壌改良剤としても利用できるという一石二鳥なもの。しいたけも「止めよう！地球温暖化」も学んだ産地見学でした。

(まんまの会 増山)

※No738号で掲載した際、一部文章が抜けてしまいました。どんぐりくらぶの脱炭素の活動はよつ葉生協も応援しています。温暖化防止のこの試みにクラウドファンディングの応援をあげました。よつ葉生協でも協賛金協力をしましたが成立しませんでした。画期的な活動の内容を詳しく説明していただいたまんまの会の視察報告は、一部が抜けても正確に伝わらないので、全文を再掲載します。

参加してみませんか

地産地消～守ろうふるさと のこそう緑の大地～ やさと農業体験②「かぼちゃ・とうもろこしの芽かきをしよう」

自然豊かなやさとの地で、4月に植えたかぼちゃ・とうもろこしの芽かきをします。

飯ごうでご飯を炊き、カレー作りを一緒にして、昼食を食べましょう。

日時：6月3日（土）10：00～13：30（受付9：30～）

会場：朝日里山学校（茨城県石岡市柴内630番地）

参加費：組合員 大人（中学生以上）300円 小学生以下無料

一般 大人（中学生以上）400円 小学生以下無料

定員：なし 託児：なし

締切日：5月19日（金）

主催：よつ葉生協

申込・問合せ：よつ葉生協 組合員組織部 TEL 0120-07-1613



◇報告 『リネンに彩る植物刺繍』ハンカチに刺繍をしてみよう！ 1月24日（火） 那須塩原市・稲村公民館

講師は、“NAKURU”として活動している刺繍作家の蓮實陽子さん。一針一針丁寧に刺した、愛情たっぷりの素敵な刺繍小物を作っていました。

図案は3つで、カモミール・ラベンダー・お花のリース。その中から1つを選ぶのも楽しく、ウキウキわくわくのスタートでした。図案を選んだら、次は100種類の刺繍糸から色を選びます。緑だけでも10色以上あり、配色を決めるのも楽しい時間でした。

初めに図案ごとに刺し方を教えてくださり、あとは個別に教えてくださいました。約一時間半、刺す時間をたっぷり確保でき、黙々と作業することができました。間違えてしまってもすぐに教えに来てくれ、修正もパパッとしてくださるので、安心して進めることができました。

1つの図案に2つ以上のステッチの種類があり、その違いも楽しみながら刺すことができました。素敵なデザインだったため、最後まで終わらない方もいましたが、家でも続きができるようにしてくださいました。

同じ図案でも、少し色味が異なるだけで雰囲気が変わり、それぞれが自分だけの作品を作り上げていました。

集中して制作する素敵な時間を過ごせました。（那須塩原委員会 青山）



◇報告 日本刺繍を学ぼう 1月26日（木） 栃木市・キョクトウとちぎ蔵の街楽習館

日本の伝統文化でもある日本刺繍について「日本刺繍 紅会」にて15年間学ばれた谷政子さんを講師にお迎えし教えていただきました。

初めに谷さんがこれまでに刺繍したお着物、帯、バック、額装作品などを皆さんと鑑賞し、また道具の説明や昨今では着物は殆どが機械刺繍である事などを知りました。そして実際に先生に実演で刺してもらい、糸や針、布といった用具の扱い方、刺し方を教えてもらいました。



知れば知るほど日本刺繍の繊細で奥深い世界に気の遠くなるような気持ちになると同時にそれだけの手間と時間をかけて出来た作品の重みも感じました。

最後には、時間内に出来る方に実際に好きな色の糸を“こより”そして“刺す”体験をしてもらいました。参加者の皆さんも今回の講座で日本刺繍の素晴らしさに触れ、また講師の谷さんの穏やかな楽しいお人柄もあって終始和やかな雰囲気で楽しんでいかれました。（栃木委員会 古橋）



第11回 定例理事会報告 4月12日(水)

《報告・協議事項》

(1) 総代会関連(役務の人選)の件

第41回通常総代会(司会者1名、議事運営委員2名)について、理事会より選出されました。

(2) 酪農家支援対策について

飼料高騰など酪農家が危機的な状況に直面しており、支援として3メーカーへ計50万円の寄附を行ないました。

(3) 3月度 組合員活動会議報告

- ①組活推進会議 2023年度活動テーマ「楽しい!美味しい! 幸せ広がるよつ葉の輪」
- ②農業体験 4月22日(土) やさと①(とうもろこし、かぼちゃの定植)

③ネオニコフリー新作動画(アニメ)視聴

④ネットワーク21 定例会~畜産農家の訴えの動画視聴

⑤2023年度上期委員長会議(3月22日(水))

●3月度事業実績

組合員数	26,765名(3月20日現在 前年比101.1%)
	加入115名 脱会242名(みなし脱会117名含む)
供給高	355,437円(前年比98.1%)
	2022年4月~累計4,448,265千円(前年比99.7%)

よつ葉太陽光発電報告

○2023年2月24日から3月23日(28日間)の太陽光発電量は、14,415kWhでした。CO2削減量は4,534kg(18Lの灯油缶を190本燃焼した量)です。

よつ葉生協【まごころ便】の料金を改定します



まごころ便は、「くらら」の商品を、県内外にお住まいのご家族やご友人に向けて、送り主の組合員に代わってよつ葉生協からの宅急便で、直接お届けするシステムです。

このたび、物流費の値上げを受けて、運送会社と送料の見直しを行い、1箱あたり300~400円の値上げをさせて頂くことになりました。値上げが続く中ですが、皆さまのご理解をよろしくお願い致します。

- ★新料金は、5月15日(月)受付分から適用とさせていただきます。
- ★【まごころ便】の注文は、専用注文書で受け付けています。専用注文書が必要な方は、配送員または生協本部へご連絡ください。専用用紙をお届けします。

(参考)

★まごころ便は、受付週の「くらら」商品が対象です。

・注文できるもの

常温商品、冷凍商品(アイスクリーム等は除く)

・注文できないもの

野菜、果物、冷蔵商品、パン類、特別企画品、苗など

★ご個人の持ち込み荷物は受付できません。

★詳しくは、5月15日号のよつ葉だよりでご案内します。

(理事長 三輪)

<よつ葉だより休刊のお知らせ>

ゴールデンウィークで印刷会社お休みのため5月8日号のよつ葉だよりは、お休みさせていただきます。ご理解の程よろしくお願い致します。



ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金報告(4月3週分)

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの助けあいの気持ちが広がっています (単位:円)

栃木コロナ支えあい基金 (860番)	3,700
茨城誰かのために募金 (862番)	1,000
合計	4,700

共同購入注文書の該当番号に数量をご記入ください。

WEB注文の場合は、左側【企画商品・募金】内の【募金関連】をクリック。一口100円の募金になります。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告(4月3週分)

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位:円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	8,400
震災孤児を支援する募金 (910番)	24,400
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	13,400
合計	46,200

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。

WEB注文の場合は、左側【企画商品・募金】内の【募金関連】をクリック。一口100円の募金になります。

共通申込書

希望する行事名に してください

やさと農業体験②

組合員番号	氏名
住所	
連絡のつきやすい電話番号☎	
参加人数 (大人) 組合員	人 ※同居の家族は組合員に含みます
(大人) 組合員以外	人
(小・中学生)	人 歳 歳 歳
(未就学児)	人 歳 歳 歳
参加者のアレルギー	無・有 ()

託児: 6カ月以上のお子様から	人 歳 歳 歳 歳
お子さんのアレルギー	無・有 ()

備考欄

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <https://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yotsuba-coop.jp



ホームページ



Facebook



Instagram